# 廃棄物会計ワークシート 2003(平成15)年度版

# TOPページ

このページは公開対象となります。

「 自治体概要」と「 本ワークシー hの公開について」をお答えください。 「 TOP項目」と「 住民1人あたりの指標」は自動計算されます。

		, (-), C , -, J H 13, 2, 0		, =1.5.70	
自治体概要					
都道府県					
自治体名 一部事務組合名					
(一部事務組合の場合構成市町村)					
2003年10月1日人口·世帯数	人口[P]		人世帯	数[F]	世帯
所在地	₹				
担当部署					
記入者名					
電話 <del>F</del> AX	電話		FAX		
電子メールアドレス					
	ページ目	以降の扱いについて 要 ○公開不可	〇 未定		
(事前連絡不要)		ر			
12枚のWSに加え、新たに追加る 公開も可能な場合はチェックを(			「域用サブ	シート 指標 ~ の公開:	も可能
TOP項目 (? 自動計算されます。手書きで語	己入されるり	場合には、計算方法に	こついてマ	'ニュアルをご参照下さ	,1)
1 <u>資源化率は何%ですか?</u> [R] 総資源化量(t)		[W <sub>a</sub> ] 総排出量(t)		[T₁] 総資源化率	(%)
	÷		=		
総資源化量には、集団回収 2 自治体の資源化 あたり単仮		· - · •			
[Ar] 自治体資源化費 (円)		自治体の資源化量 	₫(t)	[T <sub>2</sub> ] 資源化単価 (P	] / t)
	÷		=		
自治体の資源化量には、集		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
3 容器(容リ法対象全容器) リ [T <sub>3</sub> ]自治体負担割合(%)	1 —	D自治体負担割合  8)事業者負担割合(%		<u>ですか?</u> 合計	
	+	700	<u></u>	100%	
	<u> </u>	100		100/0	
住民一人あたりの指標 (『自動計算されます。手書きで記	己入される <sup>は</sup>	場合には、計算方法に	こついてマ	'ニュアルをご参照下さ	,1)
家庭系ごみ 資源	原の排出原	単位合計	$[w_I]$	g	/人日
事業系ごみ・特込	(を含む総	排出原単位合計	[w]	0	/人日

### ワークシー HNo.2

# 1. ごみ・資源物の物流構造

# 1.1 2003年度(平成15年度)の排出から処分までの概要

(1)排出~収集運搬量(t/年)

<u>(1)</u> 排出~以集連搬量(t/年)			
区分	家庭系ごみ収集量 家庭系持込量も含む)	事業系ごみ収集量 (許可業者、持込)	合 計
可燃ごみ			
不燃ごみ			
資源物			
粗大ごみ			
危険有害ごみ			
その他の区分1(			
その他の区分2(			
公共収集量	[W <sub>1</sub> ]	[W <sub>2</sub> ]	[W]
(2)中間処理量 (t/年)	(:	3)最終処分量(t/年)	
_		<del>克</del> 却残渣等 焼却灰	
不燃・粗大ごみ破砕処理量		里立処分量 溶融スラグ	
合 計		不燃ごみ埋立処分量	
	Ē	<u> </u>	
(4)資源化量 (t/年) ? 詳細は次	(! の1.1にご記入 <i>ぐ</i> ごさい。	5)その他公共関与による資 ? 詳細は4.2 ワークシ・	源化量(t/年) - トNo.10 )にご記入 <i>ぐ</i> ごさい。
資源物収集からの資源化量 (残さを除く)	售	集団回収量	
ごみ処理施設からの資源化量		その他の公共関与資源化量	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
合 計 [R₁]	Ē	<u> </u> 計 [R	2]
	幺	総資源化量 [R=R₁+R	2]
4 0 MM / / / O 534 / m	<del>-</del>	•	<u> </u>

#### 1.2 資源化の詳細

(1)資源物の分別区分別	削の収集実績																	
					含ま	きれ	る資	源物	勿に:	チェ	ック	を入	れて	了下	さ			
資源物の 分別区分名称 ()内にご記入 <i>ぐ</i> ごさい	収集実績 (t/年)	ガラス無色	ガラス茶	ガラス他	リター ナブルびん	スチー ル缶	アルミ缶	PETボトル	その他プラ容器	その他紙容器	プラスチック類	紙パック	ダンボー ル	古紙	古布 (古繊維 )	生ごみ	有害物質	その他
資源物分別区分1 (																		
資源物分別区分2 (																		
資源物分別区分3 (																		
資源物分別区分4 (																		
資源物分別区分5 (																		
資源物分別区分6 (																		
資源物分別区分7																		

この表は次ページに続きます。

		含まれる資源物にチェックを入れて下さい																
資源物の 分別区分名称 ()内にご記入ぐださい	収集実績 (†/年)	ガラス無色	ガラス茶	ガラス他	リター ナブルびん	スチー ル缶	アルミ缶	PETボトル	その他プラ容器	その他紙容器	プラスチック類	紙パック	ダンボー ル	古紙	古布 (古繊維 )	生ごみ	有害物質	その他
資源物分別区分8 (																		
資源物分別区分9 (																		
資源物分別区分10 (																		

#### (2)プラスチック類について

プラスチック製容器包装の分別収集を行っている場合、その対象は何ですか?

○ プラスチッグ製容器包装全て○ 白色トレイのみ○ その他 硬質系に限定、等)● 分別収集していない

容器包装リサイクル法の分別収集以外のプラスチック類の処理方法を下記から選んでください。

○ 主に可燃ごみとして焼却 ○ 主に不燃ごみとして埋立 ○ 不燃ごみ・プラスチッグ類として収集し、焼却処理

O RDF化を実施

その他

(3)品目別の資源化量 (2) 斜体数字は自動計算されますが、内訳が分からない場合直接入力も可能です) 「資源ごみからの」ごみ処理施設 公共資源化 集団回収等に 総資源化量 左の内、指定											
	資源ごみからの 資源化量(t)	ごみ処理施設 での資源化(t)	公共資源化 合計(t) [ <b>r</b> ;]	集団回収等に よる資源化(t)	総資源化量 (t)	左の内、指定 法人引渡量(t)					
ガラスびん合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
ガラス無色			0.0		0.0						
ガラス茶			0.0		0.0						
ガラス他			0.0		0.0						
リターナブルびん			0.0		0.0						
金属缶類合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
スチール缶			0.0		0.0						
アル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			0.0		0.0						
その他金属類			0.0		0.0						
PETボ HV			0.0		0.0						
その他プラ容器			0.0		0.0						
その他紙容器 (単独でわかる場合のみ)			0.0		0.0						
プラスチック類			0.0		0.0						
紙パック(単独でわかる場合 のみ)			0.0		0.0						
古紙類合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
ダンボール			0.0		0.0						
古紙			0.0		0.0						
古布 (古繊維)			0.0		0.0						
生ごみ			0.0		0.0						
有害物質			0.0		0.0						
溶融スラグ			0.0		0.0						
その他 ( )			0.0		0.0						
合計(下段カッコ内は、確認用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
の表1 .1の数値です。)	(0.0)	(0.0)	$[R_1]$ (0.0)	$[R_2]$ (0.0)	[R] (0.0)						
選別残渣量											

# 2. 行政のごみ処理・リサイクル体制

#### 2.1 测事業主体

事業区分ごとに事業主体にチェックを入れて下さい。

事業区分		ごみ処理事業	資源化事業					
争来区方	収集運搬	中間処理	最終処分	収集運搬	選別等中間処理			
事業主体	□ 自治体単独 □ 一部事務組合	□ 自治体単独 □ 一部事務組合	□自治体単独 □一部事務組合	□自治体単独 □ 一部事務組合	□ 自治体単独 □ 一部事務組合			
備考								

#### 2.2 収集運搬車両体制

収集運搬車両体制ごとの車両種類別台数 (計画(配車)台数 )・乗車人員等をご記入下さい。 収集運搬車両体制の定義についてはマニュアルをご覧下さい。

	以朱建颁 中间	はいい コヘン		A
体制	車両種類	台数	乗車人員	直営 委託
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O ##
両	4tパッカー・プレス	台	人/台	〇直営
体	その他パッカー	台	人/台	○委託
制	平ボディ車	台	人/台	●他
1	その他	台	人/台	
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O ± **
両	4tパッカー・プレス	台	人/台	〇直営
体	その他パッカー	台	人/台	□○ 委託 □
制	平ボディ車	台	人/台	● 他
2	その他	台	人/台	
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O ##
両	4tパッカー・プレス	台	人/台	〇直営
体	その他パッカー	台	人/台	□ ○ 委託 □
制	平ボディ車	台	人/台	● 他
3	その他	台	人/台	
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O ##
両	4tパッカー・プレス	台	人/台	〇直営
体	その他パッカー	台	人/台	□ ○ 委託 □
制	平ボディ車	台	人/台	● 他
4	その他	台	人/台	
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O ##
両	4tパッカー・プレス	台	人/台	〇直営
体	その他パッカー	台	人/台	○委託
制	平ボディ車	台	人/台	●他
5	その他	台	人/台	

Vをに見てさい。											
体制	車両種類	台数	乗車人員	直営 委託							
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O + #							
両	4t パッカー・プレス	台	人/台	〇直営							
体	その他パッカー	台	人/台	○委託							
制	平ボディ車	台	人/台	●他							
6	その他	台	人/台								
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O + #							
両	4t パッカー・プレス	台	人/台	〇直営							
体	その他パッカー	台	人/台	○委託							
制	平ボディ車	台	人/台	● 他							
7	その他	台	人/台								
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O + **							
両	4t パッカー・プレス	台	人/台	〇直営							
体	その他パッカー	台	人/台	○委託							
制	平ボディ車	台	人/台	● 他							
8	その他	台	人/台								
車	2tパッカー・プレス	台	人/台	O + **							
両	4t パッカー・プレス	台	人/台	〇直営							
体	その他パッカー	台	人/台	○委託							
制	平ボディ車	台	人/台	●他							
9	その他	台	人/台								
車	2t パッカー・プレス	台	人/台	O ##							
両	4t パッカー・プレス	台	人/台	〇直営							
体	その他パッカー	台	人/台	○ 委託							
制	平ボディ車	台	人/台	● 他							
10	その他	台	人/台								

#### 2.3 中間処理 最終処分体制

中間処理施設・最終処分場の概要をご記入下さい。

施設種		名 称	稼働開始年度 (西暦)	処理能力	設置 運営主体 処理方式
			年度	t/日	選択してください 選択してください
			年度	t/日	選択してください 選択してください
焼却施設 焼却施設			年度	t/日	選択してください選択してください
ᄷᄍᅑᄞᄱ	四又		年度	t/日	選択してください選択してください
			年度	t/日	選択してください 選択してください
			年度	t/日	選択してください選択してください
不燃 #			年度	t/日	選択してください選択してください
大ごみ	処		年度	t/日	選択してください選択してください
理施設	:		年度	t/日	選択してください 選択してください
	1		年度	t/日	選択してください 選択してください
施設化	2		年度	t/日	選択してください 選択してください
│╬源	3		年度	t/日	選択してください選択してください
型化	4		年度	t/日	選択してください選択してください
	5		年度	t/日	選択してください 選択してください
早级加	$\Box$		年度	$m^3$	選択してください選択してください
最終処分 場			年度	$m^3$	選択してください選択してください
均			年度	$m^3$	選択してください選択してください

#### 2.4 収集車両体制別の収集形態と年間総回転数(トリップ数)

まり、												ㅁᇨᅵ									
車両	収 集	ステーション	集積所あたり世	<i>m</i> 右欄の	可	不	担大	そ	そ	分資	分資	動合	日年 数間								
体	方	/各戸/	帯数値	単位の	燃	燃	大	の	の	1源 物	2 源 物	3 源 物	4 源 物	5 源 物	6 源 物	7源 物	8 源 物	9源物	源 物	計計	稼 働
制	式	拠点数	動計算)	選択	ごみ	ごみ	ごみ	他	他 2	120 区	170  X	120 区	算 <sub>(</sub> 自	1剉)							
"123	-				ማ	ማ	ማ	1												) I	
車両体制 1	□ ステーション			● 回/年																	
_	□ 戸別収集 □ 拠点等	箇所	世帯/箇所	〇日/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制 2	□ ステーション																				
丰岡体門2	□戸別収集	** ==	III +++		- · <del>-</del>	- · -	- · <del>·</del>	- · -	- · -	- · -	_ , _	_ , _	- · -	_ , _	- · -	- · -	- · -	- · -	- · <del>·</del>		
-	□ 拠点等	固門	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制3	□ ステーション □ 戸別収集																				
_	□拠点等	箇所	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制 4	□ ステーション																				
半间体的 4	□戸別収集	***																			
-	□ 拠点等	箇所	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制 5	□ ステーション □ 戸別収集																				
_	□ 拠点等	筃所	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制 6	□ ステーション																				
半回体前 0	■戸別収集	***	111 444 . 444																		
-	□ 拠点等	箇所	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制7	□ ステーション □ 戸別収集																				
-	□拠点等	箇所	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制8	□ ステーション																	-			
半岡体町 0	□戸別収集	***	111 444 . ***																		<b>-</b>
-	□ 拠点等	箇所	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制 9	□ ステーション □戸別収集																				
_	□拠点等	箇所	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
車両体制10																					
平凹 件町 10	□ ステーション □ 戸別収集	**	111 +++ , ^/			- · -	- <i>-</i>	- · -	- · -	- · -	- · -	_ , _	- · -	_ , _	- · -						
-	□ 拠点等	<u> </u>	世帯/箇所		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	日/年
合 計					回/生	同/生	回/生	同/生	回/生	回/生	回/生	同/生	回/生	同/生	同/生	回/生	回/生	同/生	回(生	回(生	
	2の年間恵ま	」 記念師 🗆 粉	一	」 かたごコン		回/年	四/年	四/牛	四/年	四/年	凹 / 牛	凹/牛	凹/年	四/年	凹/年	四/牛	四/牛	四/年	四/牛	四/年	
年間車両稼	分の年間車両 動日数 (円 /		<u>C</u> 年 凹 百 安	双位し記八	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	I <sub>o</sub>															
			数份)																	,	
71 111112 71 0	分別区分ごとの計画 (配車 )車両台数 (台 )																				

車両1台1日あたり回転数(回/台/日)

# 3. ごみ処理・資源化費用

#### 3.1 2003年度の費用総額の計算

2003年度のごみ処理・資源化費用の総額を算出します。(集団回収に関する費用は除きます)

#### (1)ステップ1:決算書から

間接費用の総額 [K]		直接費用の総額 [C]		設備投資 [S]	
	田		円		円
管理人件費、広報費など		作業員人件費、燃料代、補修費 委託費、組合負担金など	Ī,	施設整備費、車両購入費、施設 造費など1年を超えて使用するも	

#### (2)ステップ2:減価償却費の算出

	資産品目	建設費・購入費総額 維持管理の範囲を超える改造費も含む。国庫補助金も含む) 土地代は含みません	耐用年数 焼却施設15~25年 粗大ごみ処理施設・リ サイクル施設7~15年 収集車両7年前後	残存 簿価 割合 設定値)	減価償却費 [G] 左欄から自動計算され ます。独自に計算をさ れている場合は、直接 入力して下さい。
収集	<b>『車両、その他収集設備</b>	円	7 年	10%	円
中間	ごみ焼却施設	円	20 <i>年</i>	10%	円
処 理	不燃 粗大ごみ処理施設等	円	10 <i>年</i>	10%	円
資源	原選別施設等	円	10 <i>年</i>	10%	円
最終	<b>咚</b> 処分場	円	30 <i>年</i>	10%	円
合	計	円			円

#### (3)ステップ3 2003年度のごみ処理 資源化費用総額

	間接費総額 [K]	直接費総額 [C]	減価償却費 [G]	費用合計 [A]	間接費比率(%) [k]					
	円	円	円	円						

#### 3.2 ごみ処理・資源化の部門別原価の計算

本シー Hは次ページ以降の記入により自動計算されます(紙の場合はマニュアルに基づき計算し記入して下さい)

主たる費目	直接費	減価償却費	間接費	合計
ごみ収集経費		+	+	=
ごみ処理経費 (焼却等中間処理)		+	+	=
		中間処理量(t)	単価(円/ ‡	一人あたり経費(円 / 人)
最終処分経費		+	+	=
		最終処分量(t)	単価(円/ t	一人あたり経費(円 / 人)
ごみ処理経費計		+	+	=
<u> </u>		ごみ収集 ·搬入量(t)	単価(円 / t	一人あた!経費(円 / 人)
資源化費		+	+	=
		資源化量(t)	単価(円 / t	一人あた!)経費(円 / 人)
全合計		+	+	=
	[C]	[G]	[K]	[A]

#### 3.3 ごみ・資源物の分別区分ごとの収集運搬費用の算出

(1)収集	集車両体制(2		1の年出 月の算出		[ x ] ‡	安分比率	ばたから	計算方法	去を選択	リア下さ	1.1)	O ±+	7 \ <del>+</del> -	<b>6</b> 0 4 <b>7</b>	- ACI = *	는 / 4호 / f h CT 3	#5\  L <del>sta</del> +	7.0++/	
車両体制	直接費	    減価償却費	間接費 (下から計算方法を選択して下さい)	7 合計	- バリコ: 一可 燃ご	不燃ご	粗大ご	その他	その		資源物	資源物	資源物	● 2.4 <del>2</del> 資 源 物 区	資源物	資 源		<mark>そのまま使</mark> 資 源 物	
制 N o	且按貝	/成1   1  東本1  東 	<ul><li>● 間接費比率</li><li>○ 直接入力</li></ul>		み	み	み	1E 1	他 2	資源物区分1	初 区 分 2	資源物区分3	初 区 分 4	· 区 分 5	初 区 分 6	物 区 7	資源物区分8	物 区 分 9	資源物区分
1			円	円															
2			円	円															
3			円	円															
4			円	円															
5			円	円															
6			円	円															
7			円	円															
8			円	円															
9			円	円															
10			円	円															
合計	円	円	円	円															

(2)分別区分ごとの収集運搬費用の算出(自動算出)

分別区分	収集費用 [ Mx <sub>j</sub> ]		直接費	減価償却費	間接費	収集費用合計
可燃ごみ	円	ご	[Cw <sub>1</sub> ]	[Gw <sub>1</sub> ]	[Kw <sub>1</sub> ]	[Aw <sub>1</sub> ]
不燃ごみ	円	み	10.01	10.11	L (1	E [1
粗大ごみ	円	収 集	円	円	円	円
その他 1	円	費				
その他2	円	用				
資源物区分1	円		IO+ 1	10* 1	II/w 1	ΓΛ = 1
資源物区分2	円		[Cr <sub>1</sub> ]	[Gr <sub>1</sub> ]	[Kr <sub>1</sub> ]	[Ar <sub>1</sub> ]
資源物区分3	円	資				
資源物区分4	円	源				
資源物区分5	円	物 収	円	円	円	円
資源物区分6	円	集	П	D	D	П
資源物区分7	円	費				
資源物区分8	円	用				
資源物区分9	円					
資源物区分10	円					

### ワークシー HNo.8

3.4 資源物の品目別に費用を按分するための按分比率の記入欄 品目別の按分方法についてはマニュアル、及び 資源物のかざ比重 のシートをご覧下さい。

<del></del>	具版物の四日別に負用で放	1	S/C070.	71271	U-V	шО/	IIÆJ	-	HH 1177	100127				× — _	- / / / \	<i></i>	<i>5</i>	7,507	,				<i>-</i>	-0 -0
		12	42	<u> +1                                   </u>	11		<b>-</b> ,	ارب	7			安分し				<b>⊬</b> i	<u> </u>		<i>μ</i> _	#	`≠×	7	7.次	
	収集 処理の区分	ガラスびん合計	ガラス無色	ガラス茶	;  夕	金属缶合計	スチー ル缶	アルミ缶	その他金属類	PETボトル	その他プラ容器	その他紙容器	プラスチック類	紙パック	古紙類合計	ダンボー ル	古紙	古布 (古繊維 )	生ごみ	有害物質	溶融スラグ	その他	み・残渣資源物以外のご	合計
[ y	ij] 収集運搬部門 容積按分	をしてぐ	ださしや	 むを得す	ず重量技	安分を	<u></u> 行った	場合に	は、右	にチェ	ックし	て下さ	l I。		資源物	の重量	 量按分	·を行:	カ <sub>こ</sub>				<u> </u>	
	可燃ごみ	0.0%				0.0%									0.0%									0%
ご	不燃ごみ	0.0%				0.0%									0.0%									0%
み収	粗大ごみ	0.0%				0.0%									0.0%									0%
集	その他1 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	その他2 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	資源物区分1 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	資源物区分2 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	資源物区分3 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
資	資源物区分4 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
源物	資源物区分5 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
収	資源物区分6 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
集	資源物区分7 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	資源物区分8 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	資源物区分9 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	資源物区分10 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
[ z	•	按分の	方法を右	から選ん	でクだ	さい後	数可[	〕資》	原物重	量	作業!	員人数	【 🗌 賞	資源物:	容積	□施	設面積		施設の	の稼働:	量	施設	維持管	理費
	焼却施設	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	不燃 ·粗大ごみ処理施設 資源化施設1 「	0.0%				0.0%									0.0%									0% 0%
施設	資源化施設2	0.0%				0.0%									0.0%									0%
収	資源化施設3	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	資源化施設4 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%
	資源化施設5 [	0.0%				0.0%									0.0%									0%

3.5 中間処理費用の算出(一部事務組合で実施の場合、末尾のサブシート記入もご協力願います)

施設別に費用をご記入く	ください ここでは売	却益を含みません	0		
処理体制	直接費 (委託費や負 担費を含む) [Cw <sub>2</sub> ],[Cr <sub>2</sub> ]	減価償却費 <mark>[Gw<sub>2</sub>],[Gr<sub>2</sub>]</mark>	間接費 (下から 択)[Kw 〇 直接入力 ⑥ 間接費比		合 計 [Aw <sub>2</sub> ],[Ar <sub>2</sub> ]
焼却施設				円	円
不燃・粗大ごみ処理施設				円	円
資源化施設	円	円	円	円	円
1[ ]				円	円
2[ ]				円	円
3[				円	円
4[ ]				円	円
5[ ]				円	円
中間処理費合計 [N]	円	円	円	円	円

3.6 品目別の費用、および容器包装リサイクル法対象品目の負担割合(売却益を入力してください)

3.6 品目別の質	實用、およひ答	<b>済器包装リサ</b>	イクル法対数	家品目の負担割合(	売却益を人	刀してく	、たさい
	収集運搬費用 (円) [Ar₁]	中間処理 費用(円) [Ar <sub>2</sub> ]	逆有償 売 却益(円) [Ar <sub>3</sub> ]	費用合計(円) [Ar] (カッコ内の容り法市町 村負担分を含む)	トンあたり 単価(円/t) [ t <sub>2i</sub> ]	容リ法 再商品 化方法	自治体 負担比 率(%)[t <sub>3i</sub> ]
ガラスびん合計		[ 2]	F 21	1121271 2007	L -21 1	107374	1 (17/1-313
ガラス無色				(¥0)		(選択)	0.0%
ガラス茶				(¥0)		(選択)	0.0%
ガラス他				(¥0)		(選択)	0.0%
リターナブルびん						独自	100%
金属缶類合計							
スチール缶						独自	100%
アル笠						独自	100%
その他金属類							
PETボ けレ						(選択)	0.0%
その他プラ容器				(¥0)		(選択)	0.0%
その他紙容器				(¥0)		(選択)	0.0%
プラスチック類							
紙パック						独自	100%
古紙類合計							
ダンボール						独自	100%
古紙							
古布 (古繊維)							
生ごみ							
有害物質							
溶融スラグ							
その他							
容リ法対象物合計							0.0%
資源物全合計							

3.7 資源化費用合計の算出(自動計算されます。売却益は差し引いていません)

直接費 [Cr]	減価償却費 [Gr]	間接費 [Kr]	合 計 [Ar]
円	円	円	円

3.8 最終処分費用の記入	(一部事務組合で実施の場合、	末尾のサブシート	記入もご協力願います)
		ハルロンファフ	

			間接費 (下から計	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	]	<b>参考</b> )
Ī	直接費 [Cw <sub>3</sub> ]	減価償却費 [Gw <sub>3</sub> ]	〇直接入力	◎間接費比率	合 計 [Aw <sub>3</sub> ]	残余年数
	円	円	F	円 円	円	年

#### ワークシー HNo.10

# 4. その他の情報

4.1 ごみ有料化の状況

ごみ種類	区分		収集	態様と金	額(円)			年間収入(円)
可燃ごみ	選択して	( )	円・(	淵袋	円・(	燃袋	円	
rj /然 C 0 7	下さい							
  不燃ごみ	選択して	( )	円・(	パパ袋	円・(	パッ 袋	円	
1、水流 このア	下さい							
粗大ごみ	選択して	例 )学習机		円、椅子		円		
作品人とした	下さい							
資源回収	選択して							
兵//小口 1人	下さり							
事業系一廃	選択して	( )	円・(	パル袋	円・(	火が袋	円	
子来小 况	下さり							
その他1 (	選択して							
	<u>下さい</u> 選択して							
その他2( )	下さり							
		合	計					

4.2 集団回収の実施状況 (1)集団回収の実施状況を下表にご記入下さい。

(1)集団凹収の美施4					
回収品目	集団回収量 (t)	助成の方法	単価	(単位 )	助成金額の合計
例 沽紙 古布	5,000	回収量に応じ補助金交付	5	円/kg	¥25,000,000
				円/kg	
合 計					

#### (2)参考 集団回収を含めた資源化の単価

3.2 (ワークシー HNo.6)の資源化単価と上記の集団回収費用を合わせた資源化単価を自動計算します。

	自治体資源化事 業 集団回収を除く) 3.2の計算結果から	集団回収 上記(1)から	合 計
資源化量·集団回収量 (t)			
資源化・集団回収費用(円)			
単価 (円 / t)			

(3)	その他の	社関与	による資	源化.	につ	.17
101				/// K I L	ハーノ	, , _

1.1(5)の その他の公共関与による資源化」(ワーク	シー HNo.2 )の内容について具体的にご記入 ください
-----------------------------	-------------------------------

例 )市民の生ごみ堆肥化処理、役所など公	<b>共施設での資源化、</b>	、公園剪定枝の資源化、	事業系の資源化など
----------------------	------------------	-------------	-----------

4.3 その他自由記入など	<b>学ったについて</b>
(1)ごみ処理・リサイクル『政策』に関する・ 貴自治体で進めておられる政策の考え方、	
(2)ごみの 有料化」について	
	するための指針を検討しています。また、一部には、容器包装廃棄物につ らに関する現在の検討状況、今後のご予定等ありましたらご記入 〈ださい。
(3)住民との情報共有に関する現状、課題、 の該当する箇所にチェックし にコメ	
ごみやリサイクルのコス I情報の公開や	<b>状況</b>
〇合計費用のみ公開している	〇 収集 処理 処分費等の部門別に公開している
〇部門別 品目別に公開している	○ 公開していない ● 無回答
公開の方法	
_ 以下より選択して <i>作</i> さい。復数可)	
	]決算書 □情報公開条例 □広報誌
	□ ホームページ □ その他
住民との情報共有に関する課題、ご意	兄寺とされましたりと記入くとされ。
(4)廃棄物会計の標準化と、費用の透明化・	効率化について
	向けて検討を始めました。また、容り法の改正論議をめぐっては、市町村で計算された容器包装廃棄物のコストを公開することへの要求が高まって
います。これらに対するご意見、ご要望等ありま	
1	